

(参考様式1)

## 人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)	更新年月(4回目)	更新年月(5回目)
愛川町	三増地区	平成24年11月	平成26年2月	平成27年5月	平成29年2月	平成30年3月	平成31年3月

### 1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	現状 [平成30年度]		計画 [平成35年度]		農地中間管 理機構から の借入希望 の有無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組年 度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				青年就 農給付 金(開 始型)	スー パーL 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )	
法	F氏	77才	1(1)名	無	酪農 飼料畑	50 1.79ha	酪農 飼料畑	50 1.79ha		低コスト化	取組中					
認農 法	A氏	48才	3(1)名	無	飼料畑	2.19ha	飼料畑	2.30ha		規模拡大 低コスト化 6次産業化	取組中 取組中 取組中		○	○		
	G氏	65才	2名	無	施設花卉	0.12ha	施設花卉	0.12ha		低コスト化	取組中					
	E氏	55才	1名	無	露地野菜	0.81ha	露地野菜	0.81ha		6次産業化 規模拡大 低コスト化	取組中 取組中		○	○		
認農 認農	H氏 I氏	40才 40才	2(4)名	無	露地野菜	2.50ha	露地野菜	4.00ha		6次産業化 規模拡大 高付加価値化 低コスト化 担い手後継者育成 法人化	取組中 取組中 取組中 取組中 未定		○	○		
認農	J氏	60才	3名	無	果樹	0.28ha	果樹	0.28ha		高付加価値	取組中		○			

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	現状 〔平成30年度〕		計画 〔平成35年度〕		農地中間管 理機構から の借入希望 の有無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組年 度	活用が見込まれる施策				備考	
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				青年就 農給付 金(開 始型)	スー パーL 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )		
認農 法	K氏	71 才	3 (10) 名	有	養豚 露地野菜	3,325 0,31 ha	養豚 露地野菜	3,325 0,31 ha		6次産業化 高付加価値化 複合化 低コスト化	取組中 取組中 取組中 取組中		○				
	C氏	50 才	1 (3) 名	無	菌床椎茸 果樹	0,05 0,04 ha	菌床椎茸 果樹	0,05 0,04 ha		複合化		○					
	L氏	48 才	1 名	無	露地野菜	0,94 ha	露地野菜	0,94 ha		規模拡大 低コスト化 高付加価値化	取組中 取組中 取組中	○					
認	M氏	35 才	2 名	無	露地野菜	0,68 ha	露地野菜	0,68 ha		規模拡大 6次産業化	取組中 取組中		○	○			
認就	N氏	30 才	2 名	無	露地野菜	1,29 ha	露地野菜	2,00 ha		新規就農	27	○		○		○ (青年 等就農 資金)	
認農 法	O氏	62 才	2 (4) 名	無	採卵鶏	46,000 羽	採卵鶏	46,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○				
認農 法	P氏	53 才	4 (4) 名	無	採卵鶏	50,000 羽	採卵鶏	50,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○				
認農 法	Q氏	37 才	3 (5) 名	無	採卵鶏	47,000 羽	採卵鶏	47,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○				
認農 法	R氏	37 才	3 (4) 名	無	採卵鶏	34,000 羽	採卵鶏	34,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○				

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	現状 〔平成30年度〕		計画 〔平成35年度〕		農地中間管 理機構から の借入希望 の有無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組年 度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				青年就 農給付 金(開 始型)	スー パーL 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )	
認農 法	S氏	80 才	2 (3) 名	有	採卵鶏	25,000 羽	採卵鶏	25,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	T氏	79 才	3 (5) 名	有	採卵鶏	45,000 羽	採卵鶏	45,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	U氏	48 才	2 (5) 名	無	採卵鶏	48,000 羽	採卵鶏	48,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	V氏	46 才	3 (2) 名	無	採卵鶏	28,000 羽	採卵鶏	28,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	W氏	66 才	4 (4) 名	有	採卵鶏	42,000 羽	採卵鶏	42,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	X氏	47 才	2 (4) 名	無	採卵鶏	21,000 羽	採卵鶏	21,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	Y氏	54 才	4 (4) 名	無	採卵鶏	36,000 羽	採卵鶏	36,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	Z氏	56 才	4 (3) 名	無	採卵鶏	46,000 羽	採卵鶏	46,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	AA氏	46 才	1 (4) 名	無	採卵鶏	35,000 羽	採卵鶏	35,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			
認農 法	AB氏	57 才	10 (4) 名	有	採卵鶏	180,000 羽	採卵鶏	180,000 羽		6次産業化 低コスト化	取組中 取組中		○			

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表者 の年齢	構成員 (従業員)	後継者の有無	現状 〔平成30年度〕		計画 〔平成35年度〕		農地中間管 理機構から の借入希望 の有無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組年 度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				青年就 農給付 金(開 始型)	スー パーL 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )	
法	AC氏	43 才	4 名	有	露地野菜	1.10 ha	露地野菜	1.10 ha		規模拡大	取組中	○				
	B氏	36 才	1 名	無	野菜	0.95 ha	野菜	0.95 ha		規模拡大 6次産業化	取組中 取組中	○				農業経営改 善計画認定 申請中

【 記載上の注意 】

- ※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化など地域農業の発展を牽引する経営体や将来こうした役割を担うであろう新規就農者等を記載します。また、認定農業者、大規模経営体、農業法人及び広域で営農する農業者がいれば、それらの経営体の意向を確認したうえで、地域の中心となる経営体として位置づけます。
- ※ 「属性」には、認定農業者は「認農」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「認就」と記載します。
- ※ 「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、下段括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。集落営農の構成員である認定農業者については、その全ての認定農業者の「認農：氏名」を記載します。
- ※ 計画欄については、現状から概ね5年程度を記載する。(以下の計画欄についても同じ。)
- ※ 「新規就農・6次産業化・・・等の取組」には、経営発展のために今後取り組もうとする内容に合致する取組を選択し記載します。
- ※ 「その他」には、6次産業化支援事業、強い農業づくり交付金(経営資源有効活用対策事業)、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金など、活用が見込まれる関連施策がある場合に記載します。
- ※ 「備考」には、活用する県単独事業などの施策の内容、経営発展に向けて取り組む内容で特筆すべき事項等があれば記載します。

## 2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / 担い手はいるが十分ではない / 担い手がいない

### 3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	
担い手に集積・集約化する	○	高齢化や後継者不在により耕作が困難になった農地について、今後の地域の中心となる経営体に農地集積・集約化を図り、作業の効率化と規模拡大を進めるとともに、新規参入者等の新たな担い手の確保に努め、地域の中心となる経営体が担えない農地の利用を促進させることで、遊休荒廃農地の解消・防止及び農地の有効活用を図る。
担い手の分散錯圖を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する		
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に自由に記載]	○	

### 4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける		農地中間管理機構を農地バンクとして積極的に利用したいが、受け手が見込まれる農地でなければ借り上げないということであるため、農地バンクとして利用できる環境が整っていないことや、現状、すぐに耕作できる優良な農地については、地域の担い手への集積が進んでいるため、利用の必要性は少ない。 しかし、本町の農地については、小さい面積で複数の農地所有者が点在することや、今後(10年～15年後)は適切な農地管理ができない旨の相談が増えることが予想されることから、一団の農地の確保が可能となった際には農地中間管理機構を活用し、効率的に担い手に集積を行う。
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける		
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける		
その他[右欄に自由に記載]	○	

### 5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

【国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。】

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状 [平成27年度]		計画 [平成32年度]		利用しなくなる農地面積		農地中間管理機構への貸付け希望の有無		
		経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)			農地面積	貸付時期	
c氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.05	ha	-	- ha	-
e氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.10	ha	-	- ha	-
f氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.04	ha	-	- ha	-
g氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.18	ha	-	- ha	-
i氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.30	ha	-	- ha	-
j氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.18	ha	-	- ha	-
k氏	-才	-	- ha	-	- ha	0.12	ha	-	- ha	-

※ 筆ごとの具体的な貸付等の計画がある場合は、「別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地」に記載します。

### 6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化	○	当該人・農地プラン地域の優良農地については、既に地域の中心となる担い手への集積が進んできており、規模拡大の際、作業効率の良い条件の合った農地を借り受けることが困難な状況となっている。 一方、条件の悪い農地については、遊休化が進んできており、今後は更に増えることが予想されることから、新規参入者等の新たな担い手の確保に努め、地域の中心となる経営体が担えない農地の利用を促進させることで、遊休荒廃農地の解消・防止及び農地の有効活用を図る。
複合化		
6次産業化		
高付加価値化	○	
新規就農の促進	○	
その他 [ ]	○	

**別紙：近い将来農地の出し手となる者の農地**

近い将来農地の 出し手となる者 (氏名)	耕地地番	地目	地名、地番、大字、 字、集落番号	貸付等の区分(m <sup>2</sup> )			貸付等の 予定年度	農地中間管理 機構への貸付 を予定
				貸付	作業委託	売渡		
c氏		畑	三増下馬込	465				
e氏		畑	三増滝ノ沢	1,080				
f氏		畑	三増滝ノ沢	396				
g氏		畑	三増下馬込			28		
						1,728		
						7		
						23		
i氏		畑	三増上志田原			504		
						248		
						677		
						568		
						442		
						581		
j氏		畑	三増金山原	1,804				
k氏		畑	三増後ヶ谷	1,216				

【 記載上の注意 】

※ 「5. 近い将来農地の出し手となる者」ごとに記載します。

※ 国、都道府県に報告する場合は、農業者名を記載しますが、集落・地域で使用する場合は匿名とすることができます。

※ 農地利用図の添付は必須ではありません。